

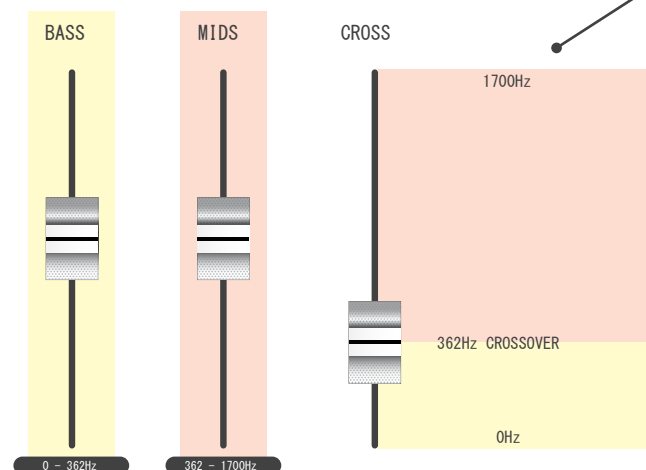
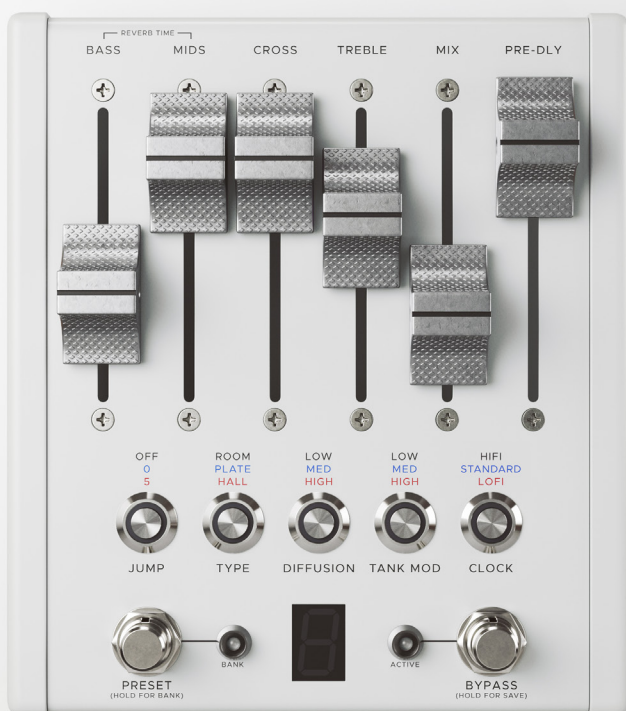
CXM 1978

AUTOMATONE™

INSTRUCTIONS

艶やかで太く、広大に伸びていくトレイル。そして永遠にも感じるほどマッシヴなディケイ。1978年は現代にまで影響を与え続ける伝説のスタジオデジタルリバーブユニットがリリースされた年です。CXM1978はその年代にまで遡り、きらびやかでファットな質感、そして回路やチップの限界による「不完全さ」「不明瞭さ」に由来する、極めてオーガニックで音楽的なフィーリングを備えています。

CXM1978のコントロールは非常にインタラクティブで、相互に影響します。実際のリバーブユニット同様の物理的なサウンド変化をデジタルで再現し、各パラメーターは独自の動作とコントロールを備えています。このマニュアルでめくるめく残響世界の冒険方法を学びましょう。



FADERS

フェーダーはプリセット変更、エクスプレッション、CV、MIDIに対応してジャンプし、現在の設定の視覚的なフィードバックを提供します。

BASS, MIDS, CROSS, TREBLE

この4つのパラメーターを組み合わせてリバーブタイムを設定します。CXM1978は一般的なシンプルなディケイコントロールではなく、EQにフォーカスしたシェイピングを伴うディケイ調整が特徴です。実際のリバーブのように壁の反射をシミュレートし、その反響を帯域別に設定するイメージです。トーンと動作は相互に影響し合います。

BASS

クロスオーバーフリークエンシーより下のディケイタイムを設定します。

MIDS

クロスオーバーフリークエンシーより上のディケイタイムを設定します。

CROSS

BASSとMIDSのクロスオーバーポイントを設定します。クロスオーバーポイントより上はMIDS、下はBASSによってコントロールされるため、周波数スプリッターとして考えることもできます。

CROSSを理解するには、まずは**MIDSフェーダーを完全に上げ切りその後CROSSを調整**すると良いでしょう。このときCROSSが最大だと大部分の周波数帯がBASSにルートされるため、短いディケイで残響も薄くなります。CROSSを下げるとディケイタイムとEQ両方が拡大します。BASSとMIDSそれぞれで個別にディケイタイムを設定し、2つをどのように分割するかを設定できるのが特徴です。BASSをプレイに常に追従するパッドリバーブのように設定することもできます。CROSSのレンジは0Hz-1700Hzです。

TREBLE

吸収を増やすことで音の反射をダークにします。TREBLEはCXMのEQが相互に影響し合うことをよく表しています。例えばMIDSとBASSが最大でも、TREBLEが最小時は吸収が増えるためディケイタイムは極めて短くなります。

MIX

リバーブ信号とドライ信号のバランスを設定します。

PRE-DLY

リバーブ信号が追従するまでの時間を設定します。設定できるレンジはCLOCKボタンの設定により異なります。DIFFUSIONをHIGHに設定するとユニークな滲みがプリディレイに適用されます。短い設定ではフランジャーに近い質感、長いとスムーズでオーガニックなエコーとなります。(詳しくはCLOCKの項目を参照ください)

FOOTSWITCH FUNCTIONS

PRESET/BANK

各バンクに保存された10のプリセット(LEDディスプレイに0-9で表示)を切り替えます。長押しすると3つのバンクが切り替わり、Bank LEDで表示されます。LED無し:バンク1、赤LED:バンク2、緑LED:バンク3。

30のプリセットはペダル単体ではこのスイッチでのみ切り替えが可能ですが、MIDIコントロールでプリセットの呼び出しも可能です。

BYPASS/SAVE

CXM1978のオンオフを切り替えます。

ボタンを長押しするとEXPペダル設定を含む全てのオーディオ設定を現在のプリセットナンバーへ保存します。

現在の設定を他のプリセットナンバーへ保存したい場合は、JUMPアーケードボタンを押しながらPRESETボタンを押して保存したいナンバーを選択し、BYPASSボタンを長押しして保存します。

BANKの切り替えはPRESETボタン長押しで行います。

ARCADES BUTTONS

JUMP

JUMPとPRESETフットスイッチを組み合わせるとバンク内のプリセットに任意のグループを作り、目的のプリセットへジャンプできます。JUMPが有効のときPRESETスイッチを押すと、プリセットが0または5へ切り替わります。例えばプリセット6を選択中にJUMPボタンを青(0)へ設定しPRESETスイッチを押すと、プリセットは0へスキップします。同じプリセット6でJUMPボタンが赤(6)のとき、プリセットは5へスキップします。この設定は各プリセットへ保存されます。特定のプリセットのみを交互に入れ替えたり、バンク内に任意のプリセット数のグループを作ること、素早くお気に入りのセッティングへ到達が可能になります。

CLOCK

リバーブの解像度とPRE-DLYのレンジを設定します。

HIFI: ローノイズ、クリーンでモダンな現代的リバーブ。48kHzサンプルレート、32 bit。プリディレイは最大42ms。

STANDARD: 1978年のシグネチャーサウンド。当時のテクノロジーの最先端であり、心地よい「欠陥」や「不明瞭さ」が特徴のレトロフューチャー的世界観。24kHzサンプルレート、16 bit。プリディレイは最大168ms。

LOFI: ザラついたデジタル粒子のスパーク、過剰なフィルタリングと音質劣化、液体のようにスムーズに滲む残響。様々な質感を楽しむユニークな設定。

LOFI設定ではPRE-DLYを「BBDアナログディレイ」のようにも使用でき、TIMEフェーダーでCLOCKレートを設定します。PRE-DLYを長くするとよりサウンドが劣化しローファイになります。48kHz-2.4kHzサンプルレート、16 bit。プリディレイは最大1.7秒。

TANK MOD

CXM内のリバーブタンクで起こるモジュレーションを設定します。

LOW: 僅かに揺らめく、オーガニックで心地よい雰囲気。

MED: スローなレート、中程度のデプスでコーラスライクな揺れを演出。

HIGH: 速いレート、浅いデプスでロータリースピーカーを彷彿させるオーバートーンを出力。

BALANCED I/O

CXM 1978は入力/出力をバランスまたはウルトラローノイズのアンバランスから選択できます。出荷時はアンバランスI/O設定となっており、このときペダルをオンにするとバイパスLEDは赤く点灯します。BYPASSフットスイッチを押しながら電源を入れると、バランスI/OとなりバイパスLEDは緑で点灯します。この設定はCXMの電源を落としても保存されます。再び設定を変更したい場合は、再度BYPASSフットスイッチを押しながら電源を入れます。

DIFFUSION

残響音の最初のアタックの滲み具合を設定します。加えていくつかの隠されたサウンドをアンロックする、多面的なコントロールです。

LOW: アタックの滲み無し、クリアで色付けのないサウンドです。

Hallモードボーナス!: LOW設定でHallモードを選択するとsparseモードをアンロックし、アタックを柔らかなディレイタップが包み込む、雲のように浮遊感のあるサウンドになります。Hallアルゴリズムのために設計された特別なモードです。

MED: ソフトなアタック。短いディレイではパーカッシブなアタックサウンドになります。アタックのエネルギーを分散させることでリバーブの開始が遅くなり、リバーブタンク全体のキャラクターはマイルドになります。

HIGH: プリディレイが再生成され、極限に近くソフトにアタックが拡散します。繰り返しの度合いはプリディレイタイムにより設定され、低い設定はフランジャーに近いコムフィルタリングや密集した残響、高い設定(CLOCKをLOFIにするとより顕著に)はディレイに近い明確なエコーサウンドになります。フィードバック経路にはDIFFUSIONが組み込まれているため、リピートを繰り返すたびにプリディレイが滲んでいきます。フィードバック量は固定です。

TYPE

ROOM: 生き生きとしたダイレクトなキャラクターで、静かなサウンドをナチュラルな響きへ変換するのに最適です。ROOMは自然なアンビエンスを付加し、より馴染みの良い音像を作り出します。アンプシミュレーターや仮想インストゥルメントとの組み合わせも最適です。

PLATE: 立ち上がり速く密集した残響成分、フレキシブルなキャラクターを持っています。馴染みが良く、例えばレコーディング時の自然なアコースティックリバーブとも簡単にブレンドすることができます。パーカッションやボーカルにも最適です。

HALL: 反射が蓄積される広大なスペースをイメージ。壁のように迫るアンビエントサウンドに最適で、拡張された反響をベースにBASS/MIDS/CROSSでEQを更にチューニングできます。地の奥底、洞窟で響くおどろおどろしい低域や、成層圏に導かれるようなアッパーミッドもお手の物。DIFFUSIONをLOWに設定してボーナスのsparseモードを楽しむのもお忘れなく。

EXPRESSION

エクスプレッション・ペダルを使用するには、Preamp MKII背面のEXPジャックとエクスプレッション・ペダルをTRSケーブルを使って接続します。デフォルトではEXPペダルにパラメーターは割り当てられておらず、EXPRESSIONメニューから操作するフェーダーを設定する必要があります。

またEXPジャックへは0-5Vのコントロールボルトエージ(CV)を入力してペダルの操作もできます。その際はリングフローティングのTRSケーブルが必要です。

エクスプレッション・ペダルの設定方法例:


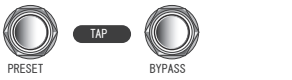
- 1 PRESETとBYPASSフットスイッチを同時に押し、EXPペダルのセットアップメニューを開きます

- 2 フェーダーを最大まで上げるとそのパラメーターをEXPペダルへ割り当て、最大まで下げると割り当てを解除します

- 3 PRESETスイッチを押すと、トープポジション (EXPペダルを踏み込んだ) 設定ページを開きます

- 4 フェーダーで設定した値がEXPペダルのトープポジションの最大値となります

- 5 TAPスイッチを押すとヒールポジション (EXPペダルを踏み戻した) 設定ページを開きます

- 6 フェーダーで設定した値がEXPペダルのヒールポジションの最大値となります

- 7 PRESETとBYPASSフットスイッチを同時に押し、EXPペダルのセットアップメニューを閉じます


エクスプレッション・ペダルの設定方法例:

- 1 PRESETとBYPASSフットスイッチを同時に押し、EXPペダルのセットアップメニューを開きます

- 2 PRESETスイッチを長押しして、Globalモードを有効にします。"E"横にドットのLEDが点灯します

- 3 フェーダーを最大まで上げるとそのパラメーターをEXPペダルへ割り当て、最大まで下げると割り当てを解除します

- 4 PRESETスイッチを押すと、トープポジション (EXPペダルを踏み込んだ) 設定ページを開きます

- 5 フェーダーで設定した値がEXPペダルのトープポジションの最大値となります

- 6 TAPスイッチを押すと、ヒールポジション (EXPペダルを踏み戻した) 設定ページを開きます

- 7 フェーダーで設定した値がEXPペダルのヒールポジションの最大値となります

- 8 PRESETとBYPASSを同時に押し、Global EXPペダルのセットアップメニューを閉じます


EXPRESSION MENUS

EXPペダルを設定するセットアップメニューには3つのページがあります。"E"のページはEXPペダルで操作する各パラメーターの割り当てを設定します。"t"のページはEXPペダルを最大まで踏み込んだポジション (トープポジション) のパラメーター、または5VのCV時のパラメーターを設定します。"H"のページはEXPペダルを最大まで踏み戻したポジション (ヒールポジション) のパラメーターまたは0VのCV時のパラメーターを設定します。"t"と"H"で設定したポジションの間をEXPペダルまたはCVで可変できることになります。設定時は各ページのみの変更も可能で、毎回すべてのページ設定を行う必要はありません。この設定はメニューから出てBYPASSを長押ししてプリセットを保存したとき (またはMidiで保存するCCを送信したとき)、初めて保存がされます。

Eページで操作に割り当てられていないフェーダーは、t/Hページではプリセットで設定されたセッティングが保持されます。そのため現在のセッティングとEXPペダルの操作幅を比較しつつ、最適なコントロールレンジを設定ができます。

このEXPペダル設定はローカルとして保存され、EXPペダル設定を開いたときの各プリセットナンバーに対応します。つまり30個のプリセットに対し30種類のEXPペダル設定が可能ということです。この設定時は**各プリセット毎にトレイル (ペダルをオフ時に残響を残すか) のオンオフをJUMPボタンを押して設定できます**。ブルーのLEDはトレイルが有効で、工場出荷時の設定となります。

GLOBAL EXPRESSION

EXPペダルの設定メニュー時、PRESETスイッチを長押しするとGlobal Expressionモードを有効にします。共通した1つのEXPペダル設定をすべてのプリセットに適用するモードです。どのプリセットからEXPペダル設定を開いても共通のEXPペダル設定メニューとなり、変更はすべてのプリセットへ適用されます。Globalモード時は、EXPペダル設定メニューの"E"の横にドットのLEDが点灯します。各プリセットごとに独立したEXPペダル設定、またはすべてのプリセットに共通した設定、2つのオプションを選択することが出来ます。

Global Expressionモードを設定後、PRESETとBYPASSボタンを同時に押し、EXPメニューを終了し、Global Expression設定をすべてのプリセットへ適用します。プリセットをスクロールしても1つの共通のEXP設定が共有されます。各プリセットに個別のEXPペダル設定を適用したい場合は、PRESETとBYPASSスイッチを長押しして再度EXPペダル設定メニューを開き、PRESETスイッチを長押しします。文字横のドットLEDが消灯するとEXPペダル設定がLocalモードになったことを表し、各プリセットに個別のEXPペダル設定が適用されます。

コンセプトのいくつかは、ビデオで紹介したほうがわかりやすいでしょう。Chase BlissのYoutubeチャンネルにはたくさんのビデオマニュアルとチュートリアルがあるので、チェックしてみてください。

[youtube.com/ChaseBlissAudio](https://www.youtube.com/ChaseBlissAudio).

ご意見 ご質問、ご感想はいつでも歓迎です!

chaseblissaudio.com/contact.

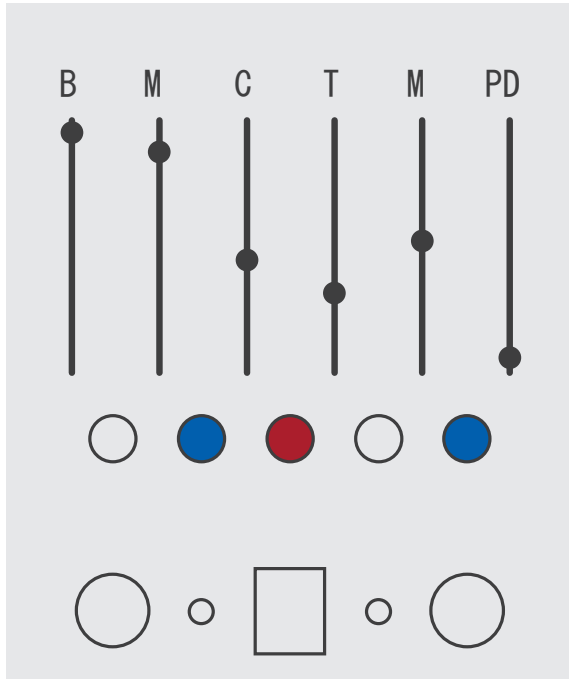
または国内代理店 HP まで。

Thank you so much for purchasing this product and ENJOY!

PRESET NAME

HOVERBOARD

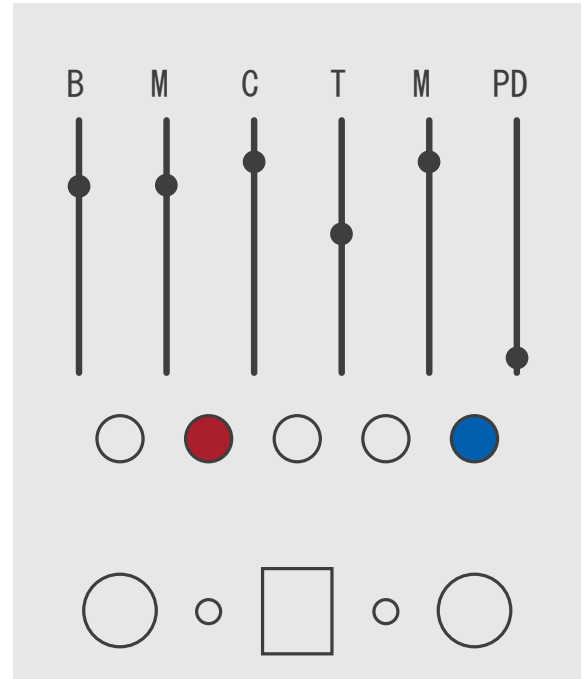
ベースにフォーカスしたパッドスタイルのリバーブ



PRESET NAME

SCATTERED THOUGHTS

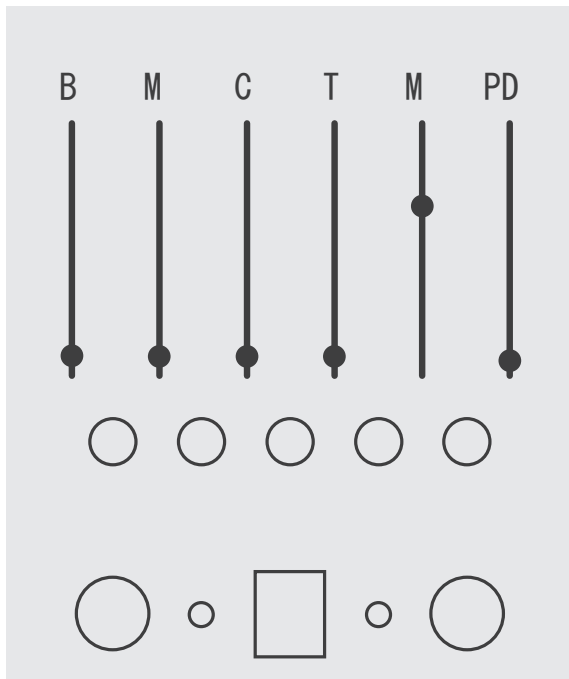
マルチタップのクラスターが弾けるかすかな残響



PRESET NAME

NATURAL ACOUSTICS

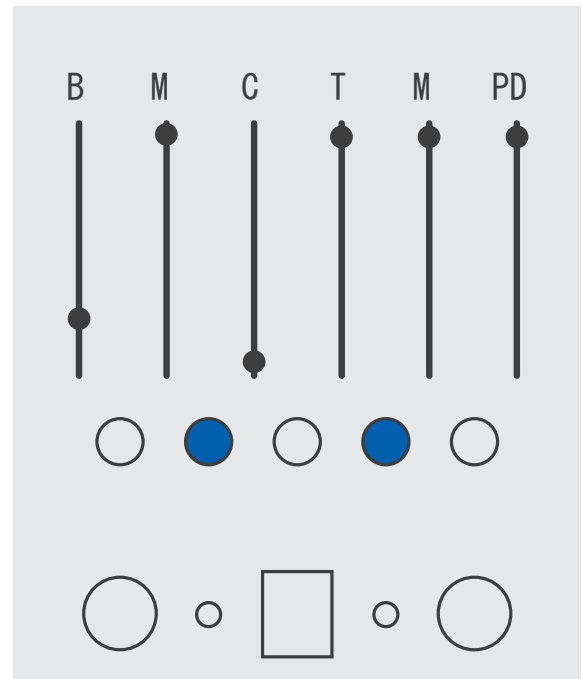
ピュアで馴染み深いルームサウンド



PRESET NAME

WANDERING WIND

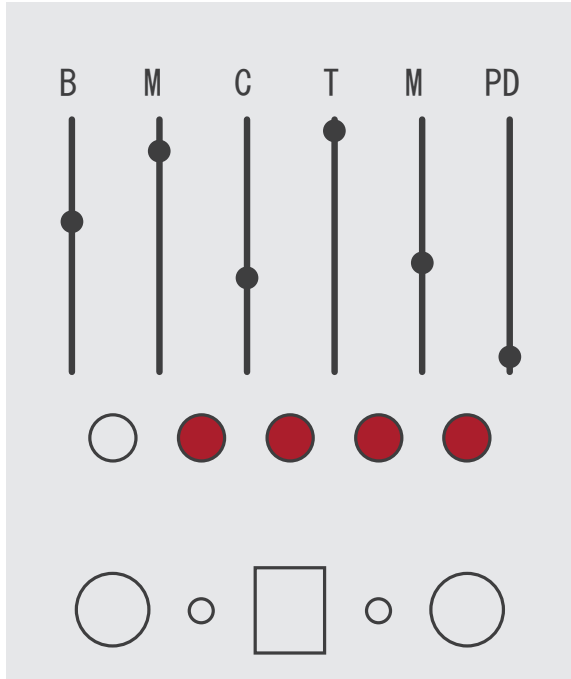
ノートを与えてゆらぎを観察しよう



PRESET NAME

ROTATING CHIME

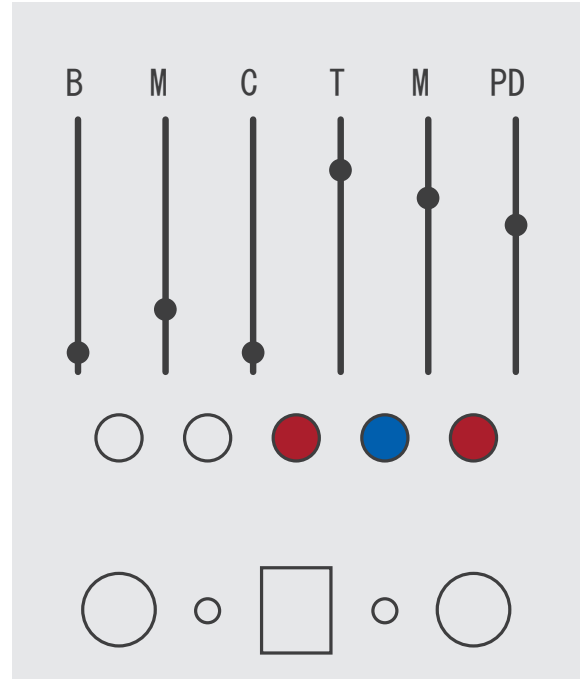
反復するローファイなアーティファクト、渦巻くモジュレーション



PRESET NAME

DISTANT ECHO

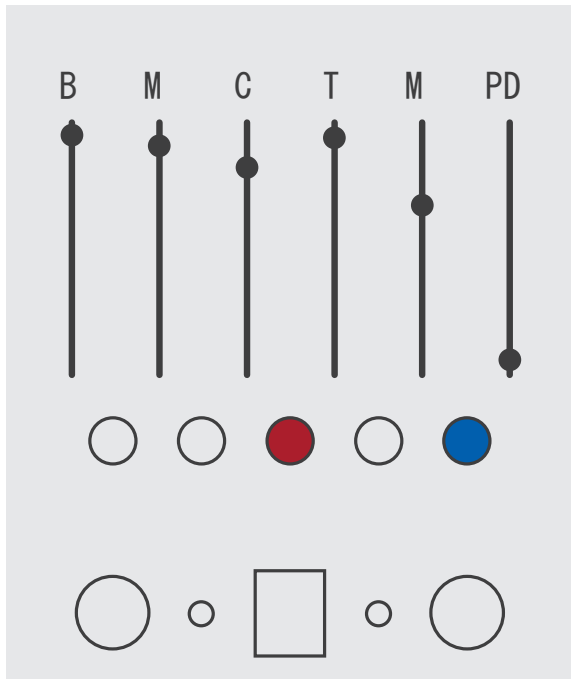
溶解していくディレイ/リバブのコンボ



PRESET NAME

WORLD'S BIGGEST ROOM

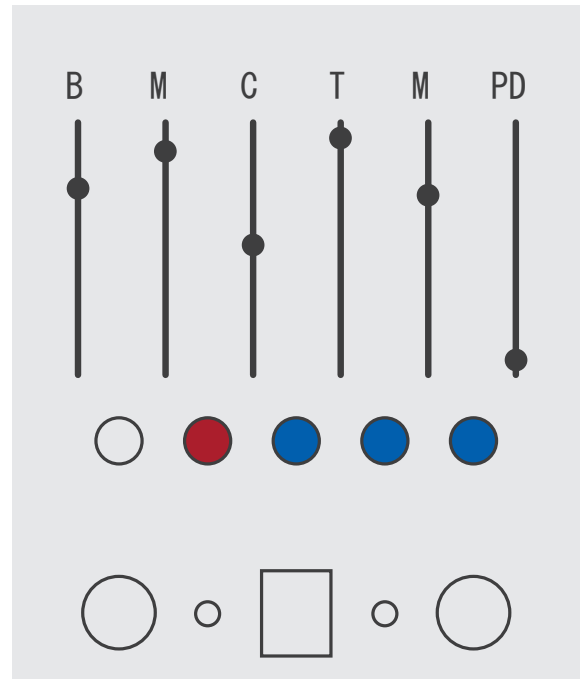
不可能なほど広いルーム、うねるトレイル



PRESET NAME

BENDING HALL

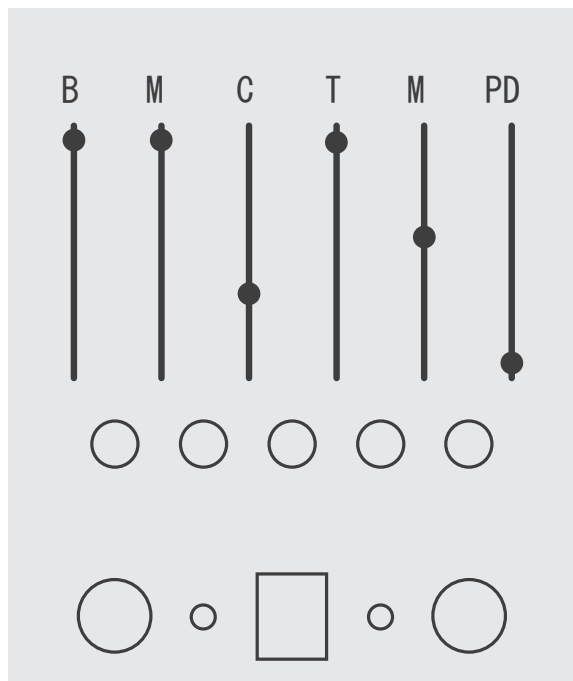
クラシックなホールサウンドにシユールなモジュレーション



PRESET NAME

BOTTOMLESS

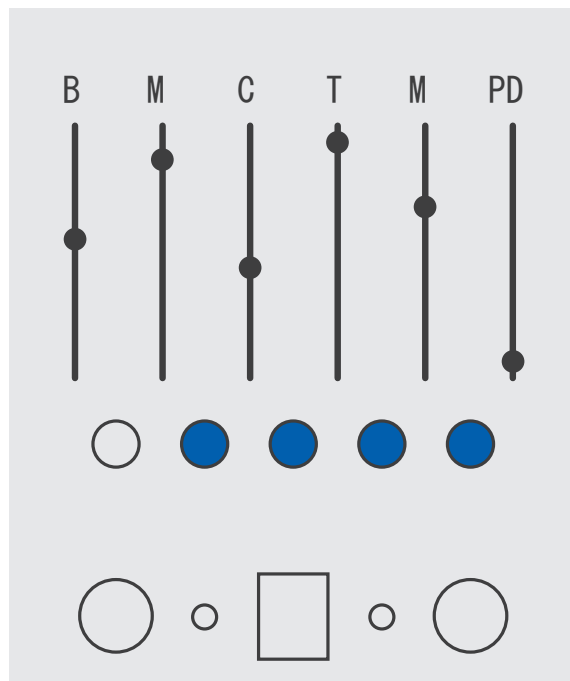
これぞ無限のリバース。最高！



PRESET NAME

ALMOST 80s

ヴァンテージスタイルのモジュレーションプレートリバース。



株式会社アンブレラカンパニー
<https://umbrella-comapny.jp>

*この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。



This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

MIDI CONTROL CHANGE CHANNELS

Parameter	CC#	Values/Descriptions
-----------	-----	---------------------

FADERS

BASS	14	0でフェーダーをフルダウン、127でフルアップ。 中間の値はフェーダーの中間に対応。
MIDS	15	
CROSS	16	
TREBLE	17	
MIX	18	
PRE-DLY	19	

ARCADE BUTTONS

JUMP	22	1: Off, 2: 0, 3: 5
TYPE	23	1: Room, 2: Plate, 3: Hall
DIFFUSION	24	1: Low, 2: Med, 3: High
TANK MOD	25	1: Low, 2: Med, 3: High
CLOCK	26	1: HiFi, 2: Standard, 3: LoFi

OTHER

PRESET SAVING	27	CC#29がプリセットスロット#0-29に対応。
AUX PERF SWITCH 1	28	すべての値でこの機能をトリガー
AUX PERF SWITCH 2	29	すべての値でこの機能をトリガー
AUX PERF SWITCH 3	30	すべての値でこの機能をトリガー
AUX PERF SWITCH 4	31	0: Sustain on, 1(or>) Sustain off
EXPRESSION	100	0-127 (最小が0、最大が127)
EOM UNLOCK	101	すべての値でEOM Lockを解除
BYPASS / ENGAGE	102	0: バイパス, 1(or >): オン

MERIS AUX SWITCH FUNCTIONS

TRSケーブルを接続し、JUMPボタンを長押しでモードを切り替えます。

PRESET MODE

SWITCH 1	現在のバンクのプリセット1
SWITCH 2	現在のバンクのプリセット2
SWITCH 3	現在のバンクのプリセット3
SWITCH 4	現在のバンクのプリセット4

PERFORMANCE MODE

SWITCH 1 (1st Press)	EXPヒールポジションへフェーダーを移動 コアのプリセット設定へ戻る
SWITCH 1 (2nd Press)	EXPトールポジションへフェーダーを移動 コアのプリセット設定へ戻る
SWITCH 2 (1st Press)	リバーブバッファクリア (リバーブトレイルを瞬間的にカット)
SWITCH 1 (2nd Press)	リバーブのサスティンをロックし、ドライ信号から切り離し
SWITCH 3	リバーブのサスティンをロックし、ドライ信号から切り離し
SWITCH 4 (1st Press)	リバーブのサスティンをロックし、ドライ信号から切り離し
SWITCH 4 (2nd Press)	サスティンのロックを無効にし、ディケイ設定に合わせてリバーブをフェードアウト

CXM1978のパラメーターはCC (コントロールチェンジ・メッセージ) を使ってMIDI経由で制御が可能です。プリセットはCCで保存でき、PC (プログラムチェンジ・メッセージ) で呼び出しができます。

CXM1978をMIDIコントローラーに接続するには、標準的な5pinのMIDIケーブルを使用します。お使いのMIDIコントローラーのMIDI OUTポートから、ペダルのMIDI INポートへ接続します。

加えてMIDI THRUポートも用意されており、MIDI INに入力されるMIDI信号をスルーして出力することで、他の機器とのセットアップに便利に使用できます。

MIDI CHANNEL

CXM1978のMIDIチャンネルはデフォルトで2に設定されています。MIDIチャンネルを変更するには一度ペダルの電源を切り、両方のフットスイッチを押しながら電源アダプターを接続し、ディスプレイにナンバーが表示されたらフットスイッチを離します。このときペダルはPCメッセージの待機状態となり、設定したいMIDIチャンネルでPCメッセージを送ることで、そのチャンネルがペダルのMIDIチャンネルとして設定されます。再度変更されるまでこのチャンネルが保たれます。

SAVING A PRESET VIA MIDI

MIDIを使って30のプリセットのどこにでも現在の設定を保存できます。CC#27で0-29 (プリセット#0-29に対応) を送信すると、対応するプリセットスロットへ保存されます。SAVEスイッチ長押しでも、現在選択しているスロットへ保存が可能です。

RECALLING A PRESET VIA MIDI

プリセット#0-29はMIDIコントローラーから対応するPCメッセージ#0-29を送信して呼び出します。例えば、PC#4はバンク1 (左LEDオフ)、プリセット4をリコールします。PC#17はバンク2 (左LED 赤) プリセット7、PC#20はバンク3 (左LED緑) プリセット0を呼び出します。

CONTROL CHANGE MESSAGES

CXM1978はMIDIコントロールチェンジ・メッセージ (CC) で制御が可能です。フェーダー、アーケードボタン、EXPペダル、バイパスなどすべての機能をフルに制御できます。対応するCC#とバリューは左上の表を参照ください。

AUX CONTROL

Meris Preset Switchを接続すると、CXM1978のAUXファンクションを制御できます。スイッチをTRS MIDIケーブルで繋ぐと、Preset ModeとPerformance Modeの2つからモードを選択できます。Jumpのアーケードボタンを長押しすると、2つのモードを切り替えます。

Preset ModeはPreset SwitchのフットスイッチでCXM1978の各バンクの1-4のプリセットを呼び出すモードです。Preset Switchのスイッチが、各バンク1-4のプリセットに対応します。

Performance Modeはより複雑で、Preset Switchのスイッチ1と2はヒール&トールポジションを呼び出します。これにより目的のプリセット内で仮想的に3つのプリセットを操ることが可能です。ヒール&トールポジションはエクスペディション設定メニュー内で設定できます。スイッチ1を押すとヒールポジション、スイッチ2でトールポジションへアクセスします。スイッチを再度押すとスタンダードなプリセットの位置へ戻ります。

スイッチ3と4はリバーブバッファの制御を行う楽しいパラメーターです。スイッチ3は瞬間的にリバーブテイルをカットします。広大なリバーブの残響を突然停止させる、ドラマティックな表現が可能です。スイッチ4はリバーブテイルをロックし永続させるように働きます。入力されるドライ信号をカットすると同時にディケイを最大にすることで、フリーズしたりリバーブトーンにプレイを重ねる幻想的なサウンドスケープとなります。スイッチ4を再度押すとバッファをクリアします。またスイッチ3で瞬間的にバッファを削除するのも有効です。

